原発事故は

APAST主催講演会

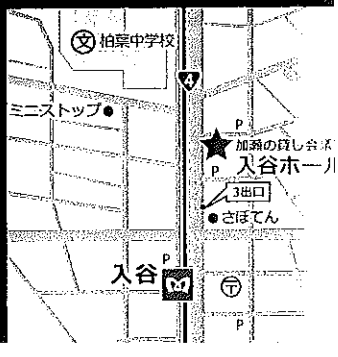
水蒸気爆発と水素爆発を考える

2011年3月11日、東日本大震災発生、巨大津波襲来。
12日、福島第一原発1号機水素爆発。14日、3号機水素爆発。15日、4号機水素爆発。
首都東京、東日本壊滅のカウントダウン直前だった。
あの悪夢のような出来事から5年8カ月。私たちは何を忘却し、どこへ向かおうとしているのか？
今もなお、大量の放射性汚染水を蓄積・流出し続ける福島第一サイト。
事故など何も無かったかのように再稼働と輸出に向かうこの国の行方とは？

爆発だ！

『水蒸気爆発の科学』
高島武雄
元横浜国立大学工学部
『蒸気爆発の科学』飯田嘉宏と共著、裳華房

『原子力規制における水素爆発の評価』
滝谷紘一
元原子力安全委員会事務局技術参与
原子力市民委員会 規制部会



2016年11月6日(日) 12:30開場 13:00～17:00
一般:1000円 学生・APAST会員:500円
加瀬の貸し会議室 入谷ホール
東京都台東区入谷1-27-4 プラーズ入谷2階(日比谷線入谷駅 徒歩3分)